



学生自治団体「信和会」

1929年の学園創立から時をおかず、信和会という学生の自治会が発足しました。創立者河井道の教育方針は、学生の考える力を育み、自治協力の精神を育てることにありました。信和会活動には、聖書にある信愛による愛と奉仕の活動を、教職員と学生の総意で作り上げていくという、学園の大切な精神が反映されています。

大学の信和会も、このような学園創立以来の精神を引き継ぎ、学生たち自らが学園生活を有意義なものにするための活動であり、互いに支援しあうための組織です。学生主催行事の企画・構成の推進とともに、さらに学生たちが実りある学生生活を過ごせるよう、大学と学生間のパイ役を務めます。



多摩市子どもみらい会議

SDGsをテーマに、「住み続けられるまちづくり」のために、多摩市内の小中学校の生徒たちが、積み重ねてきた学習成果を発信し、共有することを趣旨とした『令和元年度「多摩市子どもみらい会議」』の会場に本学が起用されました。

この会には、多摩市の教育委員も務めている本学の岩佐玲子先生（教育学）と教職の学生たちも参加し、会場設営や受付、子どもたちの誘導などにボランティアとして関わりました。



考える大学

本学は開学以来、「考えること、質問すること、批判することが学びの原点である」として、学生が真剣に考え、活発に議論する「考える大学」を宣言しています。これに基づいて、教員は自らの研究活動や学生の学習を指導しています。